



財団法人広島大学後援会の 設立準備状況について

財団法人広島大学後援会の設立については、昨年七月三十一日設立発起人会を開催し、財団法人の設立を昨年十二月末を目途とすることとして、学内募金等を実施してまいりました。その結果、昨年の十二月末まで延長しておりました学内募金額は総額三二一六万五〇三七円(募金者数二五一五名)となりました。御寄附をいただきました本学教職員の皆様に衷心よりお礼申し上げます。

現在、文部省に本財団法人の設立認可申請を行っているところでありますが、昨今の法人をめぐる諸問題が顕著化し、法人行政の見直しが政府全体の緊急課題となっております。このことから、審査に時間を要しており、本年度内の設立は困難な状況となっております。本学としても文部省に早期の設立認可を要請しておりますが、設立認可は、早くても本年五月から六月頃になるものと思慮されます。

つきましては、本財団は、平成九年度当初から種々の支援事業を行う予定にしておりましたが、財団設立が当初計画より遅れますので、これらの点について御理解いただきますようお願いいたします。

(庶務部庶務課)

教養的教育改革のための研修

三月十日(月)から十一日(火)まで本研修会を開催する主たる目的は、FD教授団の資質開発の視点を踏まえながら、教養的教育を中心とした教育改革の推進に関して教

員一人ひとりの共通理解を深めることにある。

① FDは、広く研究、教育、社会的サービス、管理運営などに関わる教授団ならびに各教員の資質改善を課題とする自主的な取り組みであり、自らの力量の向上を目指す一種の運動を意味している。今日では、大学改革の焦点が教育改革にあることに鑑み、FDの重点は教育に置かれる傾向にある。教育(授業)を構成するカリキュラム、学生、教員自身の現状、あるいは社会的要請などを十分に吟味するとともに、そこに生じている問題点や課題を自己点検・評価によって明確にし、その克服と改善に努める必要性が高まっている。

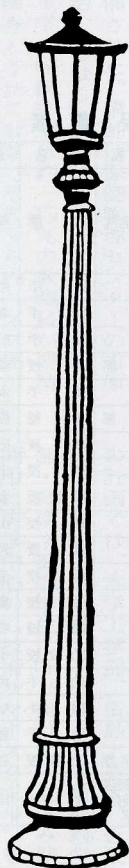
② 高等教育の大衆化段階が深まるにつれ、学生の多様化が一層進行しており、研究を志向する教員と教育(学習)を志向する学生との乖離が深まりつつある。教員の研究活動がそのまま教育活動と予定調和的に成立することはもはや困難となっており、教育の在り方を真剣に問い直さなければならなくなっている。特に学部教育(学士課程教育)では、教養的教育と専門的教育の関係を見直すと同時に、新時代に見合う教養的教育の充実を模索し、さらには具体的な授業の再生が問われている。

③ 基本方針に基づく教養的教育の実施を目前にした現在、その成否が授業に実際に携わる教員によって大きく左右されると予想される。

以上から、各教員が今回の全学レベルの研修会を通じて、教養的教育を軸に教育(授業)改革についての共通理解を深めることは、大きな意義を持つていると考えられる。(教養的教育研修会実行委員長 有本章)

広大生協ベストセラー・トップ・テン

- ① 『複雑系』とは何か 吉永良正 講談社
- ② タンパクなんてこわくない
バイオ実験イラストレイテッド5
- ③ Linux Japan vol.1 日販IP S
- ④ パラサイト・イヴ 瀬名秀明 角川ホラー文庫
- ⑤ 量子力学と私 朝永振一郎 岩波文庫
- ⑥ 聊斎志異(上) 蒲松齡 岩波文庫
- ⑦ チャタレイ夫人の恋人 ロレンス 新潮文庫
- ⑧ 岩波講座現代数学の基礎4 岩波書店
- ⑨ 評釈千文字 安本健吉 岩波文庫
- ⑩ 民法1総則 有斐閣双書 遠藤 浩 有斐閣



夏季休業の変更について

平成九年度から

七月十一日～八月三十一日が

八月一日～九月三十日に

変更になります。

広報委員会では、本誌の基本的な編集方針と投稿規定を次のとおり定めております。本誌に関するご意見、ご要望などをお寄せください。原稿をお待ちしております。

★編集基本方針

- 一、本学の責任機関の意志あるいは決定された内容の伝達と周知
- 二、本学の状況についての報道と資料の提供
- 三、本学にかかわる意見の交流

★投稿規定

- 一、文字数は二千字以内とします(図、写真は、一枚を二百字と換算)。原稿は、原則としてMS-DOSのテキストファイルのフロッピーディスクに記入し、ハードコピーと図表を別途添付してください。
 - 二、本文には、四百字程度で小見出しをつけてください。
 - 三、原稿は原則として掲載します。ただし、特定の個人及び団体を誹らう中傷する原稿または本誌の目的や性格に照らして不適当と思われる原稿は、掲載しません。
 - 四、採否は広報委員会です。
 - 五、提出された原稿は、掲載の有無にかかわらず、返却いたしません。
- ★次号は四月一日に発行予定です。